

中学・高校生～

2021年 3月 no.77

よんでネット*

2021

春号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



小学館 (973p)

「桜の木の見える場所」 パオラ・ペレッティ作 関口 英子 訳

マファルダは 10才の女の子。目に霧がかかったような「スターガルト病」で視力が落ちてくる不安におびえている。パパとママはかんじんな事は話してくれない。学校の桜の木も近づかないと見えなくなった。彼女が頼りにしているのは、用務員のエステッラとひとつ年上のフィリッポ。二人は正直で、マファルダが見えない事で失敗しても元気づけてくれる。ところがエステッラがいなくなった...

「若草物語 I&II」 L・M・オルコット作 谷口 由美子 訳

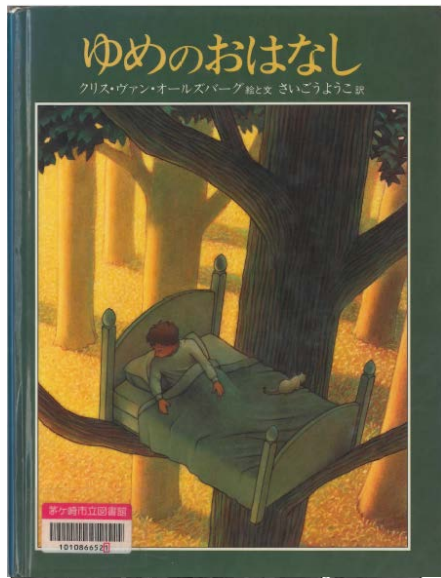
社交界に憧れる美しいメグ、
小説家を目指す活発なジョー、
音楽を愛する内気なベス、
おませで愛らしいエイミー。

優しい母に見守られながら、姉妹は夢を追いかけて、悩み、恋をし、それぞれ自分らしい道を選んで成長していきます。

あなたは、誰に似ていますか？



講談社 (933p)



徳間書店 {E・絵本のコーナー}

「ゆめのおはなし」

クリス・ヴァン・オールズバーグ 絵と文 さいごうようこ 訳

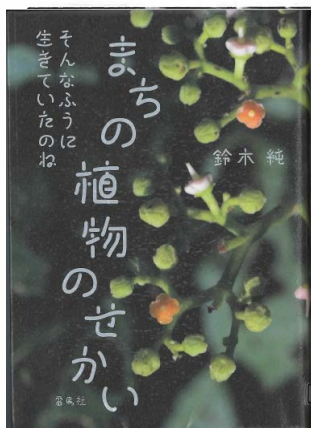
食べカスは道端にポイ、ゴミの分別なんてめんどろ...
 そんなウォルターの眠るベッドが、ある夜 未来へ飛んだ!
 そこは、^{あこが}憧れのハイテクできらびやかな未来ではなく...
 ゴミの山に^う埋もれる家、巨大なえんとつからはくさい
 けむりがモクモク、いつまでも進まない 高速道路...
 ウォルターは、元の世界へもどれるのか!?

「そんなふう生きていたのね まちの植物のせかい」

鈴木純 文 頤

^{やが}藪をも枯らすヤブカラシ。でも、よく目を
 こらして見ると... キュートな花が!

「なにこれ。ちょっと、可愛くない?」
 植物のどアップの写真は、まるで別世界。
 なんで、今まで見えていなかったのだろう?
 どれも目にしたことのある植物ばかりなのに。



雷鳥社
 {470入}

遠くへ出かけなくても、
 足もとに未知の世界は
 広がっている。

「親方と神様」 伊集院 静 著

^か鍛冶職人の六郎は、自分を慕って
 くる少年 浩太を連れて、鉄の神
 「^{かな}金屋子神^や」が^こ祀^{がみ}ってある神社へ
 向っている。浩太は 六郎の仕事場へ
 夏休み中通って その仕事に^{あこが}憧れ
 鍛冶屋さんになりたいと 母を困らせて
 いた。母は 息子の思いを^た断^たって欲しい
 と 親方に頼んだ。
 考えぬいた六郎は
 50年前 自分の親方
 と歩いた^{やまみち}山径へ
 浩太を誘った。
 そして...



あすなろ書房
 {91361}